



学校と地域との「つながり」を深める

具体的な取組み例

●地域の大人との触れ合いを

学校は、地域の大人を招く機会をつくり、触れ合いの中から子どもたちにあこがれの大人のイメージをもたせて、「なりたい自分」の姿を具体的にさせましょう。

●地域の子どもを地域で育てる

地域の中での知り合いを増やし、学校と子どもと大人とのネットワークを広げるために、学校と地域が協力して、それぞれの行事やボランティア活動などに互いに積極的に参加しましょう。



地域の食文化を学習し、「ひばごん丼」をつくっている地域の人から、仕事に対する思いや考え、夢や生き方などを学びました。

(庄原市立西城小学校)

地域が果たすべき役割

将来、子どもたちが、社会人・職業人として自立していくためには、多くの大人との出会いが必要です。地域は、子どもを包み込む「つながり」を深めて、教育力を高めることが求められます。

改善の考え方

地域は、子どもたちが地域の大人と接する機会を設け、子どもを積極的に受け入れ支えていくことが必要です。地域を子どもたちの学習の場として、学習の題材を提供していくことが大切です。

●語って伝える大人の体験

子ども会や自治会の行事など、子どもたちが地域の大人と触れ合う場を設けましょう。

地域の大人は、仕事を通じて楽しかったこと・苦労したことなどの体験を子どもたちに語りましょう。